

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010100		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	芸術文化振興補助金事業		予算事業名	文化振興補助金事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦		担当者名	山本 健太	
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体							
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る							

2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	補助金	円	264000	264000	264000	264000
	芸術文化活動助成金	円	500000	474000	856000	560000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.056	100	0.080	143	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	803,320	786,044	98	788,549	100	949,221	120	
	事業費	764,000	738,000	97	1,120,000	152	964,000	86	
	合計	1,567,320	1,524,044	97	1,908,549	125	1,913,221	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,567,320	1,524,044	97	1,908,549	125	1,913,221	100	
合計	1,567,320	1,524,044	97	1,908,549	125	1,913,221	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1200	1200	100.0	1200	100.0	1200	100.0	
	実績	1162	1180	101.5	1110	94.1			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	5	5	100.0	9	180.0			

【効率性】

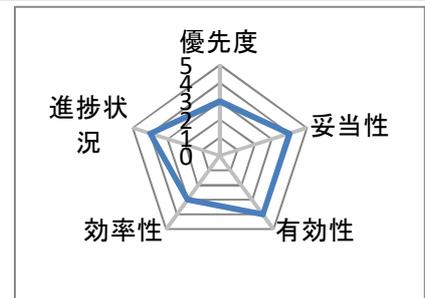
指標名1		協会員一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1900	1700	89.5	1700	100.0	1700	100.0	
	実績	1325	1291	97.4	1719	133.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める。	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	団体の活動及び決算状況を検証しながら、補助金の額を検討していく。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	補助金	円	0	0	0	60,000	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016		0	0.020	-	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	369,740	75	522,509	141	499,401	96	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	494,600	369,740	75	522,509	141	559,401	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	494,600	369,740	75	522,509	141	559,401	107	
合計		494,600	369,740	75	522,509	141	559,401	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

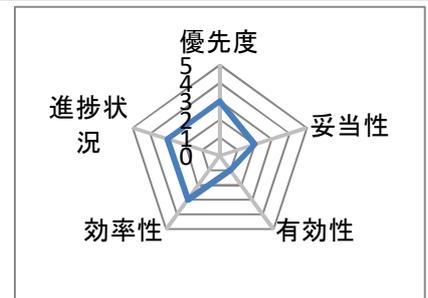
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010300		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 末政 友紀	
		取組み事項	市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)						
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	文化芸術顕彰授与	件	0	2	3	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.012	300	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	401,984	399,476	99	404,269	101	439,425	109	
	事業費	149,800	79,600	53	105,600	133	223,000	211	
	合計	551,784	479,076	87	509,869	106	662,425	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	551,784	479,076	87	509,869	106	662,425	130	
合計	551,784	479,076	87	509,869	106	662,425	130		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	4	4	100.0	2	50.0	4	200.0	
	実績	0	2	-	3	150.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

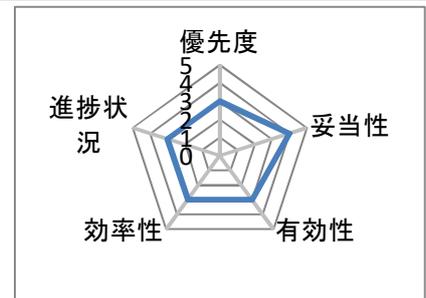
指標名1		受賞者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷受賞者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	98548	157140	159.5	295352	188.0	331213	112.1	
	実績	0	239538	-	169956	71.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	3
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める。

配点	32.5
総合評価	21

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	文化協会などへの周知をはじめ、各種文化芸術団体と連携を図ること。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松本 秀文	担当者名 中谷 有輝
		取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生					
	誰(何)を対象として	中学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	中学生参加者数	人	180	231	208	231	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.068	850	0.032	47	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	429,212	99	877,229	204	589,365	67	
	事業費	550,000	550,000	100	300,000	55	600,000	200	
	合計	982,856	979,212	100	1,177,229	120	1,189,365	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	982,856	979,212	100	1,177,229	120	1,189,365	101	
合計	982,856	979,212	100	1,177,229	120	1,189,365	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	207	103.5	231	111.6	
	実績	180	231	128.3	208	90.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

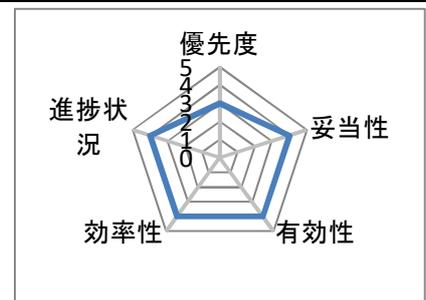
指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4721	4778	101.2	7103	148.7	5149	72.5	
	実績	5460	4239	77.6	5660	133.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大会当日は大雨警報発令により中止となったが、事前準備については予定通り達成できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	小学校の体験乗船でも往復600mで競漕を行っているが、中学生ペーロンは直線300mの競漕しか行えていない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	ペーロン競漕の魅力の一つでもあるターンを体験できるよう、往復600mの競漕の実施を教育委員会に要望していく。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	IHI艇庫からではなく、相生ペーロン海館での実施を検討していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業		優先度	3
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	末政 友紀	
		取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	芸術文化活動							
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる							

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	文化祭	事業	17	15	15	16
	美術展	回数	1	1	1	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.620	0.620	100	0.622	100	0.830	133	
	臨時職員	0.016	0.021	131	0.094	448	0.078	83	
支出内訳	人件費	5,198,416	5,036,969	97	5,210,989	103	6,686,007	128	
	事業費	2,606,220	2,629,260	101	2,524,604	96	2,536,000	100	
	合計	7,804,636	7,666,229	98	7,735,593	101	9,222,007	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,804,636	7,666,229	98	7,735,593	101	9,222,007	119	
合計	7,804,636	7,666,229	98	7,735,593	101	9,222,007	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭出演者数							
指標説明(式)		出演者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	2000	100.0	
	実績	1922	1835	95.5	1791	97.6			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	250	250	100.0	300	120.0	300	100.0	
	実績	250	275	110.0	253	92.0			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	660	660	100.0	634	96.1	634	100.0	
	実績	682	715	104.8	695	97.2			

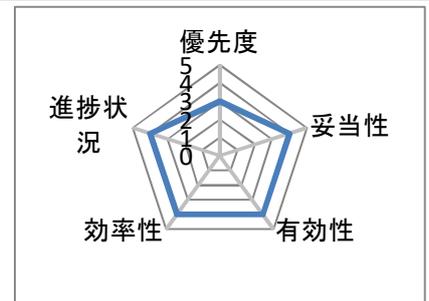
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10560	10560	100.0	8453	80.0	8453	100.0	
	実績	10424	9560	91.7	9979	104.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
	期待する目標	文化の発展を促進するために、市内の参加率向上を目指す。	
効率性	手段の最適性	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。



配点	32.5
総合評価	24

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるように見直しを行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	現状の事業の内容充実を図り、参加意欲を高め、より参加者や来場者にとって魅力のある事業とするとともに、市民に対して情報提供を行っていく。				
見直し事項	文化会館での実施に当たり、効果的・効率的に実施できるように検討する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030300	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業	予算事業名	相生市文化会館管理運営事業 優先度 5
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる	担当課長	桑名 雅彦
		取組み事項	文化施設の充実を図る	担当者名	横家 秀樹
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		文化会館維持管理事業		文化会館更新事業	
根拠法規及び関連法規		相生市文化会館の設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用件数	件	2,745	2,823	2,817	3,000
	利用者数	人	163,745	164,270	152,991	160,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	2.371	2.266	96	2.260	100	2.112	93	
	臨時職員	2.018	1.977	98	1.915	97	1.500	78	
支出内訳	人件費	23,985,902	22,689,497	95	21,959,359	97	18,376,125	84	
	事業費	65,677,452	59,639,668	91	55,533,327	93	93,007,000	167	
	合計	89,663,354	82,329,165	92	77,492,686	94	111,383,125	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	12,227,244	10,904,341	89	10,013,603	92	12,719,000	127	
	一般財源	77,436,110	71,424,824	92	67,479,083	94	98,664,125	146	
	合計	89,663,354	82,329,165	92	77,492,686	94	111,383,125	144	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化会館利用状況							
指標説明(式)		文化会館利用人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	180,000	180,000	100.0	180,000	100.0	160,000	88.9	
	実績	163,745	164,270	100.3	152,991	93.1			
指標名2		自主事業来場者							
指標説明(式)		自主事業来場者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5,000	5,000	100.0	6,000	120.0	6,000	100.0	
	実績	4,169	6,170	148.0	5,100	82.7			

【効率性】

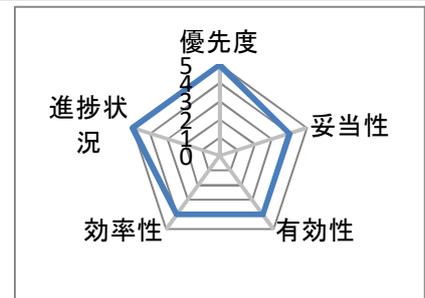
指標名1		文化会館管理事業費							
指標説明(式)		文化会館管理事業費総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,834,000	66,520,000	99.5	62,467,000	93.9	93,007,000	148.9	
	実績	65,677,452	59,639,668	90.8	55,533,327	93.1			
指標名2		利用者1人あたりのコスト							
指標説明(式)		支出合計／利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	511	508	99.4	475	93.5	696	146.5	
	実績	548	501	91.4	507	101.2			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数については、新型コロナウイルスの流行により、2月、3月のキャンセルが増加した結果、昨年度から減少することとなった。	4
	市民サービス	事業への参加や鑑賞する機会を提供することができた。	
効率性	コストの節減	市民に快適な環境を提供するとともに、経費の節減に努める。	4
	手段の最適性	費用対効果を念頭に置いた管理運営方法を検討した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会をはじめとする市民の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	より多くの人に関心を持ってもらえる、魅力的な事業の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な周知方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	29

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	近隣施設や温水プール、図書館等を参考に指定管理の在り方について検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	文化財運営事業		予算事業名	文化財事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	桑本 健一		
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	文化財							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	9	
	歴史講座の実施	回	24	23	20	24	
	史跡めぐりの実施	回	11	10	11	11	
	古文書講座の実施	回	12	12	10	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.240	0.120	50	0.240	200	0.223	93	
	臨時職員	0.213	0.211	99	0.207	98	0.123	59	
支出内訳	人件費	2,784,474	1,846,079	66	2,676,159	145	2,201,118	82	
	事業費	1,678,561	1,920,696	114	1,406,084	73	3,744,600	266	
	合計	4,463,035	3,766,775	84	4,082,243	108	5,945,718	146	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,463,035	3,766,775	84	4,082,243	108	5,945,718	146	
合計	4,463,035	3,766,775	84	4,082,243	108	5,945,718	146		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	47	44	93.6	44	100.0	35	79.5	
	実績	47	45	95.7	41	91.1			
指標名2		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費(人件費を除く)÷相生市の人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	45	66	146.7	68	103.0	129	189.7	
	実績	56	65	116.1	48	73.8			

【効率性】

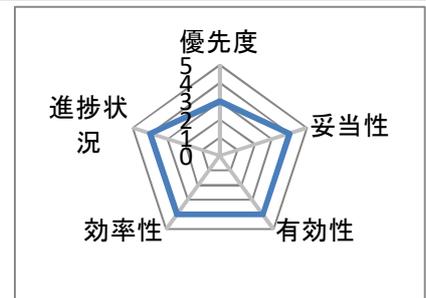
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	4
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	史跡パンフレットや歴史講座、史跡めぐりなどの資料館事業をとおして、市民に市内に残る文化財のPRを行っていきたい。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	引き続き貴重な文化財の保護に努めるとともに、文化財保護の普及啓発と郷土を愛する心を養う事業の展開を行っていく。				
見直事項	文化財専門員が中心となり、文化財、資料館収蔵庫の整理と活用について取り組んでいきたい。なお、整理した資料については、資料館で展示を行うなど有効に活用していきたい。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4					
年度	1	事務事業名	資料館管理事業		予算事業名	資料館管理事業		優先度	5		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課					
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦		担当者名	桑本 健一		
		取組み事項	文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
		実施計画事業名	資料館維持管理事業								
		根拠法規及び関連法規	相生市立歴史民俗資料館条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)		市民								
	誰(何)を対象として		歴史民俗資料館								
	意図(どのような状態にしたいのか)		郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。									
活動実績	項目	単位	29年度実績		30年度実績		1年度実績		2年度計画		
	資料館管理事業(特別展の開催)		回	2	2	2	2				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.346	0.208	60	0.346	166	0.877	253		
	臨時職員	0.520	0.556	107	0.560	101	0.564	101		
支出内訳	人件費	4,411,220	3,455,576	78	4,359,649	126	7,748,898	178		
	事業費	2,064,357	2,710,960	131	2,578,224	95	3,293,000	128		
	合計	6,475,577	6,166,536	95	6,937,873	113	11,041,898	159		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	6,475,577	6,166,536	95	6,937,873	113	11,041,898	159		
合計	6,475,577	6,166,536	95	6,937,873	113	11,041,898	159			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況								
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0		
	実績	103	152	147.6	202	132.9				
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数								
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	100	100	100.0	150	150.0	150	100.0		
	実績	99	148	149.5	141	95.3				

【効率性】

指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費(人件費を除く)÷入館者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3000	2480	82.7	1643	66.3	1937	117.9	
	実績	1741	1522	87.4	1526	100.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により特別展、資料館資料の収集・公開を行い、資料館事業の充実に努めた。また、文化会館の展示スペースを使って、資料館資料の公開を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	施設の有効活用を図るとともに、貴重な資料を保存する環境を整える。



配点	32.5
総合評価	28

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施するとともに、歴史講座等の市民参加型の事業を実施する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	資料館活性化サポート事業を継続していくことで、展示物の入替を行い、資料館への来館者増を図るとともに、歴史講座や史跡めぐりなどの市民参加型の事業を実施する。				
見直し事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	拡大

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401050100	事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	国際交流事業	予算事業名	国際交流事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる	担当課長	松尾 次郎	担当者名	松井 志帆	
取組み事項		多文化共生を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	スピーチ大会	人	-	-	-	-
	食文化交流会	人	21	21	0	50
	市民交流会	人	37	50	70	50
	日本語教室(延べ人数)	人	507	1,168	513	800

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.176	0.188	107	0.190	101	0.172	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,729,480	1,767,332	102	1,778,809	101	1,638,945	92	
	事業費	250,000	250,000	100	220,000	88	250,000	114	
	合計	1,979,480	2,017,332	102	1,998,809	99	1,888,945	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,979,480	2,017,332	102	1,998,809	99	1,888,945	95	
合計	1,979,480	2,017,332	102	1,998,809	99	1,888,945	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業							
指標説明(式)		事業数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	5	5	100.0	5	100.0	8	160.0	
	実績	6	6	100.0	5	83.3			
指標名2		国際交流事業参加者数							
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数(延べ人数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	555	555	100.0	1,075	193.7	900	83.7	
	実績	565	1,239	219.3	749	60.5			

【効率性】

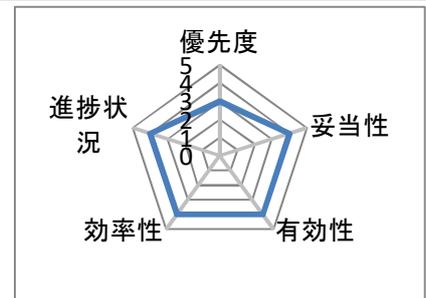
指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,286	3,644	110.9	1,802	49.5	2,099	116.5	
	実績	3,503	1,628	46.5	2,669	163.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、日本語教室を継続して行うことで、生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	日本語教室参加者数に変動があり、事業費が多少削減されているものの、一人当たりのコストは例年よりも増加している。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新規ボランティアの加入があり、さらに市(事務局)、企業等との連携及び調整が重要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	関係機関等とのスムーズな連携体制の確立する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	年々増加している外国人住民のニーズに対応し、市とボランティア、企業が連携した支援が必要である。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持